

議事2. 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について 協 議

(1) 事業評価実施の根拠

協議会は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局の長に報告しなければならない。

(2) 事業評価の目的

事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的とする。

(3) 評価項目

地域公共交通確保維持事業（以下「生活交通ネットワーク計画に基づく事業」という。）の評価については、運行系統、離島航（空）路、施設等の別ごとに、以下の評価項目について実施するものとする。

①事業実施の適切性

生活交通ネットワーク計画に基づく事業が適切に実施された（されている）か。計画どおり実施されなかった（されていない）場合には、理由等を明らかにすること。

②生活交通ネットワーク計画における目標・効果の達成状況

生活交通ネットワーク計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成された（達成できる見込み）か。目標・効果が達成できなかった（達成できない見込み）場合には、理由等を分析の上明らかにすること。

③事業の今後の改善点

実施した事業について改善点があるかどうかを、事業の目的の達成状況を考慮した上で検証したか。地域公共交通確保維持事業を継続して実施する場合は、必要に応じて、上記の検証結果を踏まえて具体的な改善策を検討したか（改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く検討すること）。併せて、より適切な目標設定について検討したか。

(4) 事業評価及び二次評価の実施

協議会は、事業評価（自己評価）の実施後、評価等の結果を別添1に記載し、地方運輸局に報告するとともに、協議会において公表するものとする。地方運輸局等は、二次評価の実施後、二次評価の結果を含む事業評価の結果を総括表に記載し、国土交通省総合政策局に提出するものとする。

－ 以上、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」及び「地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価実施細目」からの抜粋 －

(5) 今後の予定

4月末までに運輸局へ報告・公表



運輸局の二次評価



6月末までに地域内フィーダー系統確保維持計画（生活交通ネットワーク計画）の認定申請

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通ネットワーク計画に基づく事業）

平成25年 月 日

協議会・構成員 香取市地域交通協議会

【構成員】(順不同)

国土交通省関東運輸局千葉運輸支局、千葉県総合企画部交通計画課、千葉県香取土木事務所、香取警察署、(社)千葉県バス協会、北総自動車(株)、(株)千葉交タクシー、千葉交通(株)、関鉄観光バス(株)、シェアールバス関東(株)、福田線バス路線を守る会、東日本旅客鉄道(株)、香取市社会福祉協議会、香取市高齢者クラブ連合会、市民代表、香取市

事業名	補助対象 事業者等	事業概要	①事業実施の適切性	②目標・効果達成状況	③事業の今後の改善点
記載要領	<p>【事業者名及び系統名・航(空)路名・施設等を記載】</p> <p>※評価は運行系統、離島航(空)路、施設等の別ごとに実施すること</p>	<p>【運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両原価償却費等回庫補助金の交付を受けている場合は、その旨を記載)】</p>	<p>【計画に位置付けられた事業が適切に実施された(されている)かを記載。計画どおり実施されなかった(されていない)場合には、理由等記載】</p> <p>A . B . C 評価</p> <p>記載例①: 計画どおり事業は適切に実施された。</p> <p>記載例②: 災害により運航できない期間があったが、事業は概ね適切に実施された。</p>	<p>【計画に記載した定量的な目標数値と結果を記載する。結果が目標を達成できなかった場合は理由等を分析の上記載】</p> <p>記載例①(確保維持事業): 目標30人/日に対して、15人/日であった。(目標を下回った理由等を併せて記載)</p> <p>記載例②(改善事業): 年間利用者1,000人の利便性の向上が図れた。</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載(改善点は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載すること)】</p> <p>※ なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨を記載</p>
陸上交通に係る 地域公共交通確保維持事業 (地域内ライダー系統)	千葉交通株式会社	小見川循環バス (路線定期運行)	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標に据えた年間利用者数14,400人に 対し、平成24年10月～平成25年2月までの実績は7,901人である。5か月間の達成率は55%であり、季節的要因もないことから目標を達成できる見込みである。	<p>利用者は増加しているものの、アンケート調査を行ったところ、「バス停の場所を知らない」「行きたいところを運行していない」「自宅や目的地がバス停から離れている」との回答が多かったため、チャンド交通への変更について検討、協議する。</p>

【各評価項目の評価基準】

- ①事業実施の適切性
- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(されている)。
 - B…事業が計画に位置づけられたとおりには実施されていない点があった(一部実施されない見込み)。
 - C…事業が計画に位置づけられたとおりには実施されなかった(実施されない見込み)。
- ②目標・効果達成状況
- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
 - B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
 - C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。